

大学等コアリション・地域ゼロカーボンWG

北九州市における

GX

グリーン・トランスフォーメーション

の取り組みについて

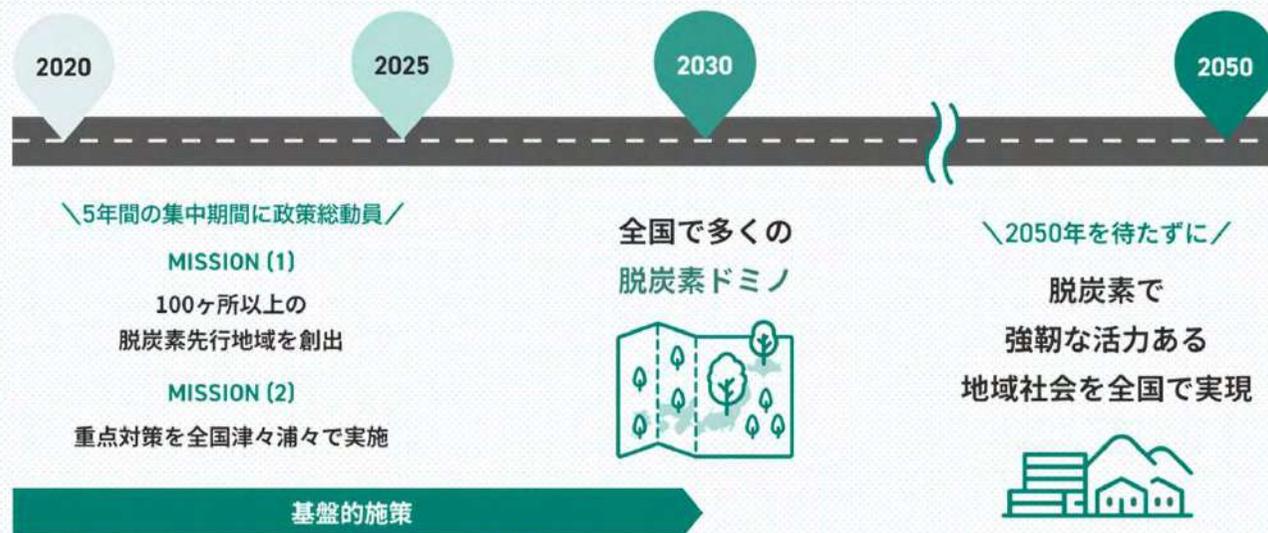
2025年8月30日

(公財)北九州産業学術推進機構 GX推進部



GXとは？

- グリーントランスフォーメーション(Green transformation)の略称
- 化石燃料をできるだけ使わず、クリーンなエネルギーを活用していくための変革やその実現に向けた活動のこと
- 目指すは、「**カーボンニュートラルの実現**」×「**産業競争力の強化**」



北九州市はなぜ GXに取り組むのか

北九州市のあゆみ

時代の最前線で常に新しいことに挑戦し、
多くの困難を乗り越えてきたドラマの豊富なまち

1901
官営八幡製鐵所

1920
東洋陶器

1925
安川電機製作所

1963
北九州市発足

2006
新・北九州空港開港

2011
・環境未来都市に選定
・OECDグリーン成長都市に
アジアで初選定

2022
脱炭素先行地域に選定

『ものづくりのまち』として日本の高度成長期をけん引
工業地帯へ

当時、世界で類を見ない五市対等合併により、九州初の
『百万都市』、『政令指定都市』として、北九州市が誕生

1900～

1950～

2000～

新たなドラマ
のスタート

●人口急増



▼激甚な公害が発生
「七色の煙」や「死の海」
▼「オイルショック後の鉄冷え」

公害を
克服

●エコタウンプロジェクト
【環境産業】

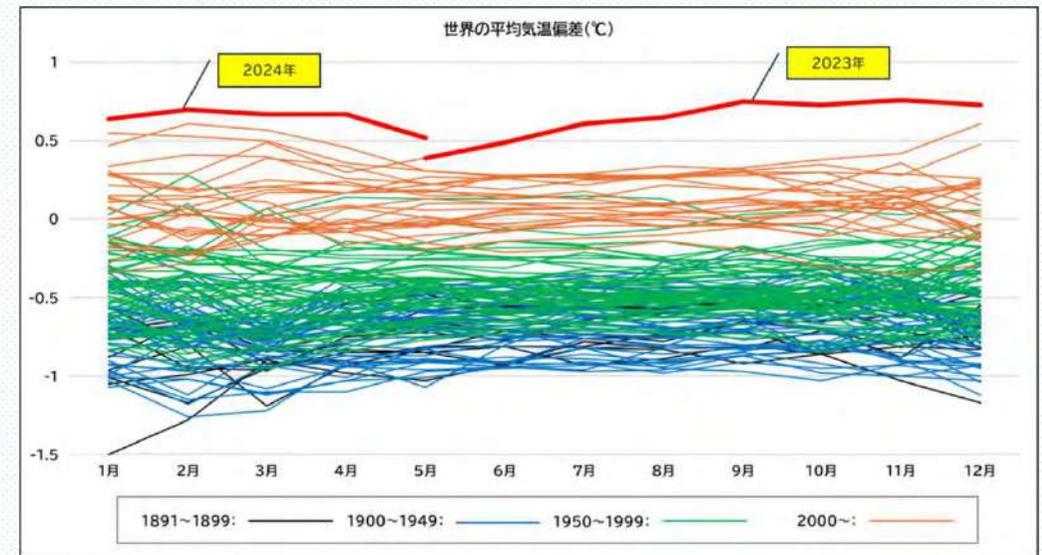
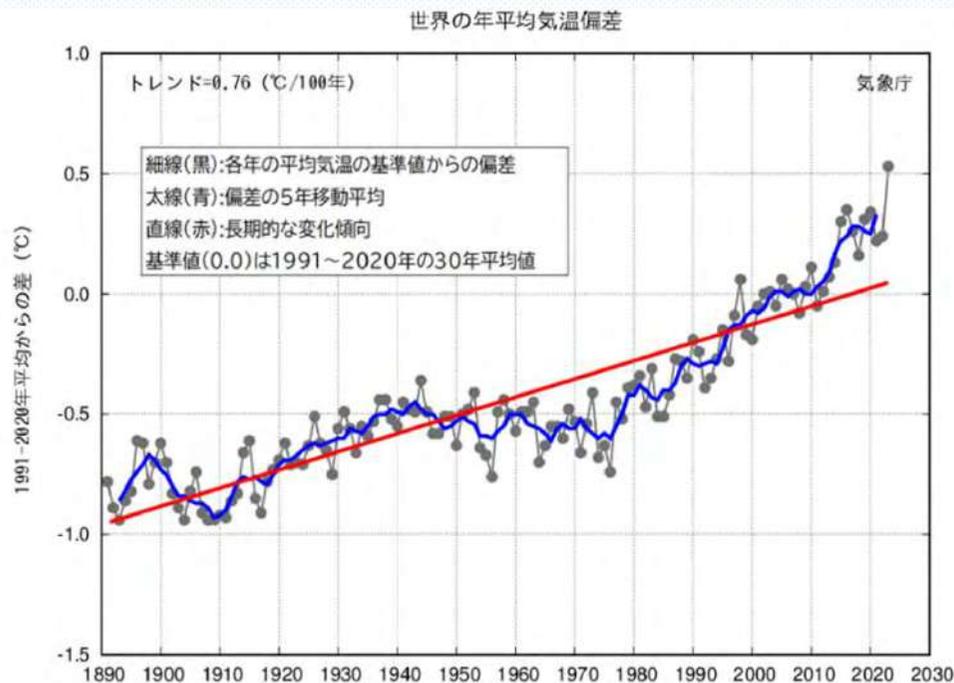
●学術研究都市【新産業】
(自動車・半導体等)

●洋上風力発電【環境産業】

今、なぜGXに取り組むのか

気候変動の緩和

- パリ協定で世界的な平均気温上昇を 1.5°C に抑える努力目標設定(2015年)
- 2023年時点で、まもなく 1.5°C 上昇に到達するおそれ
- このままでは極端な高温や大雨、干ばつなどの発生頻度の上昇、災害の激甚化



温室効果ガスの排出状況

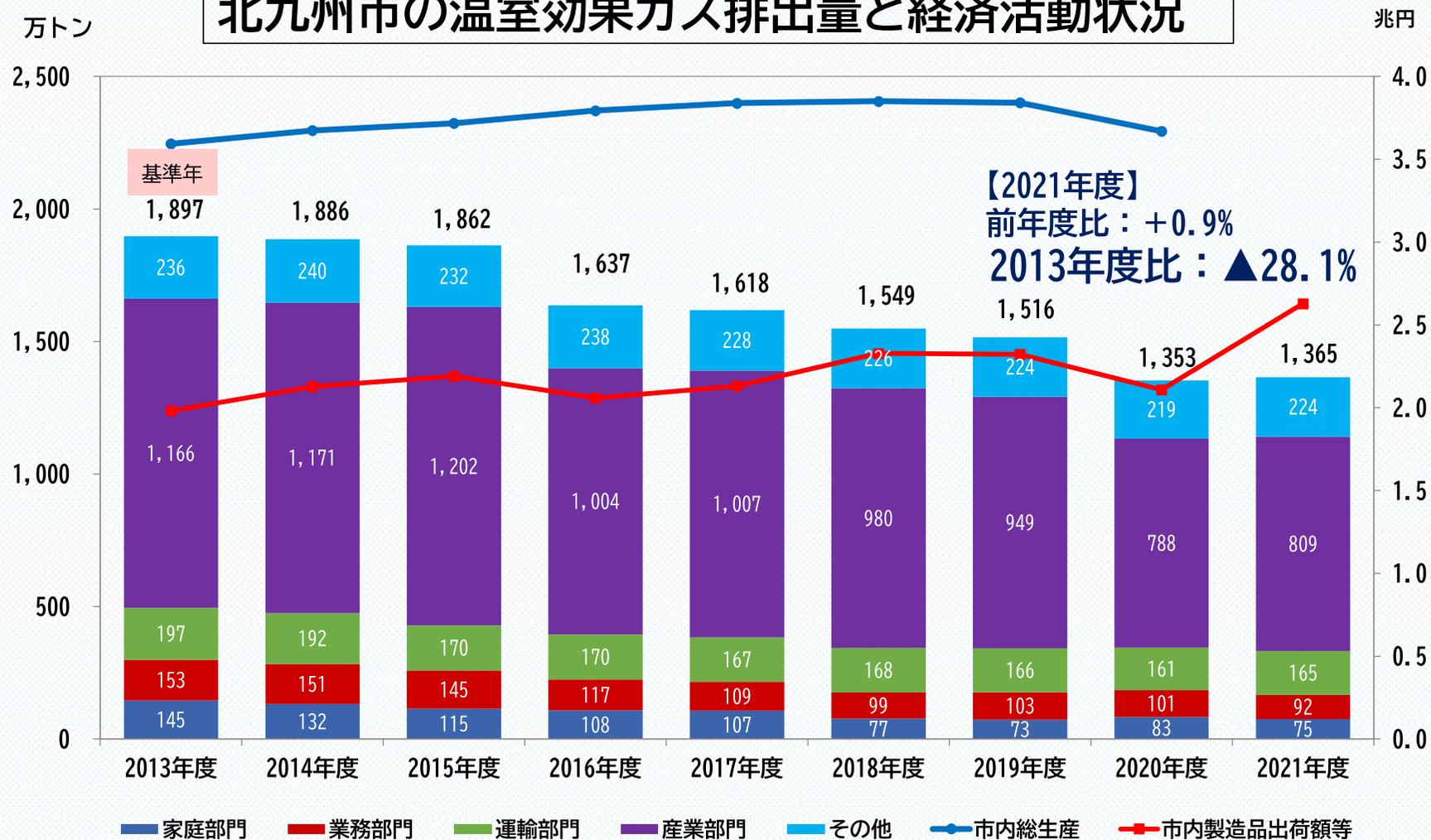
国内の温室効果ガス排出量



出典) 環境省資料

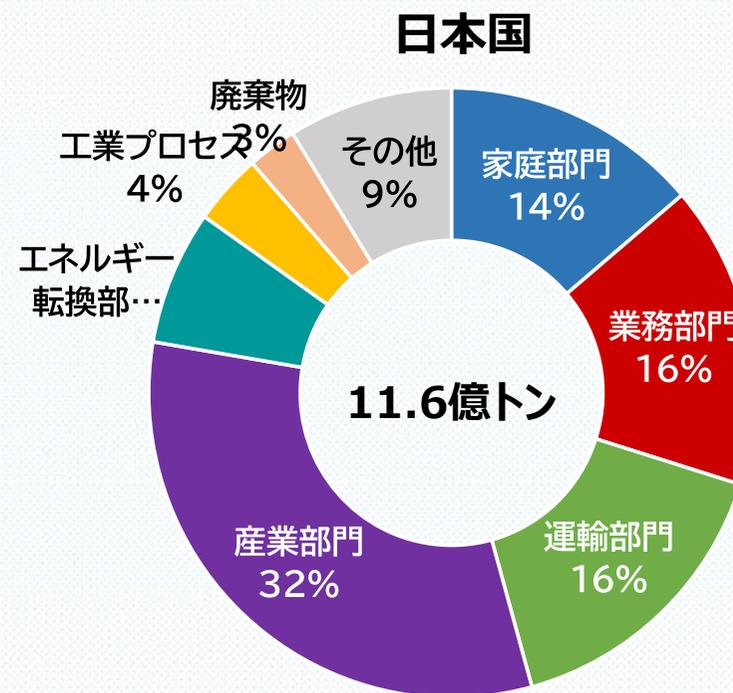
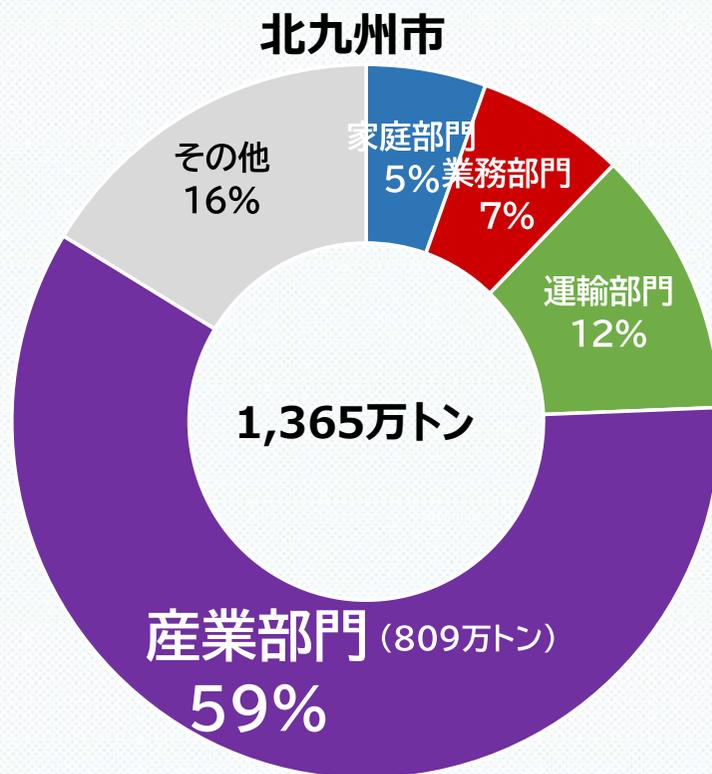
温室効果ガスの排出状況

北九州市の温室効果ガス排出量と経済活動状況



温室効果ガスの排出状況

北九州市の温室効果ガス排出量の部門別割合(2021年度)



出典) 国立環境研究所HPより

※北九州市の「その他」は、エネルギー転換部門、廃棄物部門、工業プロセス部門、メタン、一酸化二窒素、フロンガスの計

排出量全体の約 6 割を占める産業部門の取組みがカギ

北九州市のGXポテンシャル

北九州グリーンインパクト

サーキュラーエコノミー



シリコンスラリー リサイクル



太陽光パネル リサイクル



二次電池 リサイクル

日本最大級の
北九州エコタウン

供給側

水素・アンモニア



水素供給拠点の整備 (2030年頃予定)

発電量 政令市 **1位**

再生可能エネルギー

洋上ウインドファーム
R8年度中
運転開始予定

太陽光発電 316Mw
風力発電 36Mw
バイオマス 95Mw

220
Mw

(環境省 令和4年度自治体排出量カルテを参照)

資源循環産業と
製造業との
ネットワーク

需要側

GX産業立地
の最適地

後工程 世界最大手
半導体関連工場

九州最大級 120Mw
AIデータセンター

北九州学術研究都市

大阪万博 100台納車

商用EVバスメーカー

生産能力 最大200万t/年

日本製鉄電炉化

北九州GX MAP



きコンテナターミナル

北九州市立大学

藤元特任教授 E-fuel: クリーンLPG, Green fuel: H2O, H2, O2	吉塚教授 レアメタル リサイクル	高果教授 カーボン ニュートラル 建築材料	松本教授 LCA, 環境政策, エネルギーマネジメント
---	------------------------	--------------------------------	-----------------------------------

GX研究者多数

大村教授 パワー半導体	渡邊准教授 AI, ロボット	田中教授 産業用ロボット, 電子デバイス	田向教授 AI, IoT, DX	福田教授 産業用ロボット, 電子デバイス	吉江教授 AI, IoT, DX
----------------	-------------------	----------------------------	------------------------	----------------------------	------------------------

九州工業大学 **早稲田大学**

若松エリアをGX総合拠点へ



さらなる GX加速化に向けて

北九州GX推進コンソーシアム



産学官金オール北九州による
「北九州GX推進コンソーシアム」を設立。(R5.12)



↑ 設立総会(令和5年12月12日)

日本製鉄、TOTO、安川電機、ゼンリン、九州電力、西部ガスなど・参加会員 約

340
社

会長	北九州市長
副会長	北九州商工会議所会頭、北九州産業学術推進機構理事長
産	北九州商工会議所、北九州中小企業団体連合会 GXの知見を持つ企業、GXを推進する企業
学	北九州市立大学、九州工業大学、早稲田大学、福岡大学 北九州工業高等専門学校、地球環境戦略研究機関(IGES)
官	経済産業省、環境省、福岡県、北九州市 北九州産業学術推進機構(FAIS) 【事務局】北九州市、FAIS
金	金融機関

「グリーンとテクノロジーの掛け合わせ」

「一歩先の価値観」

北九州市の強みを生かしてGX投資を呼び込む

環境政策、気候変動対策の第一人者 !!

北九州GX推進コンソーシアム顧問

東京大学未来ビジョン研究センター



高村ゆかり 教授



江守正多 教授

最先端の知見を北九州市でも

北九州GX推進コンソーシアムの取組み



GXによる北九州市の成長に向けた取組みを展開

北九州GX推進コンソーシアムの主な活動

産学官金
「共創」の場

先端テーマ別研究部会設置

- 次世代燃料・カーボンサイクルなど

設立同時
スタート

ワンストップ相談窓口開設

- 専門家による伴走支援を実施

全国初

GXビジネススクール開講

- 令和6年1月、10月開講、令和7年9月開講

国内最大
規模

地域企業のCO₂把握支援

- 可視化ツール無償提供

変革推進
ビジネス創出

GX推進補助金

- 令和7年度事業費1,000万円

GXによる地域企業の変革をコンソーシアムが支援

先端テーマ別研究部会の実施

グリーンLPガス実証など、学術研究都市の知見をフル活用

北九大
藤元特任教授

次世代燃料・カーボンリサイクル部会

24/5/23 キックオフシンポジウム @学研都市
『カーボンリサイクルの技術革新と産業連携の可能性』

- ・講演
国際大学 橘川氏、西部ガス 江夏氏、
日本LPガス協会 三木田氏
- ・パネルディスカッション
モデレータ IGES 赤木氏



24/10/1 ワークショップ @北九州エコタウン

- ・グリーンLPガス実証設備見学
- ・参加者でのグループディスカッション



25/7/31 第2回ワークショップ開催
@ひびきLNG基地

- ・ひびきLNG基地・メタネーション実証設備見学
- ・参加者でのグループディスカッション



半導体部会

24/8/27 セミナー @学研都市
『GXを支える半導体』

- ・講演
日本シノプシス 河原井氏、
東芝 大幸氏



自動車部会

24/7/4 セミナー @西日本総合展示場
『パーツネット北九州自動車産業セミナー』

24/8/8 北九州自動運転推進ネットワーク講演会
『日本版GPSと高精度衛星測位の
自動運転への応用』 @国際会議場

24/10/28 ワーキンググループ立上げ @学研都市
パーツネット北九州でのGX(省エネ等)

推進の取組み

- ・令和6年度3回開催(24/10、24/12、25/2)
- ・3月からデンソー九州による専門家派遣実施中



専門家派遣
6社

25/7/3 セミナー開催 @西日本総合展示場
『パーツネット北九州自動車産業セミナー』

4 部会組成
関連セミナー 12回

新しい技術を社会実装につなげていく「共創」の場を形成

先端テーマ別研究部会の実施

未来共創部会

宇宙

24/5/17 セミナー @COMPASS小倉
『次世代の宇宙ビジネス戦略』



学研都市脱炭素化

学研都市4大学

『北九州学術研究都市の脱炭素化に向けて』
@学研都市

24/5/31第1回会合

- ・各大学とのディスカッション開始
- ・エクス都市研へ調査業務委託

25/1/16-17 ESCO事業事例視察 @大阪

25/2/17 第2回会合(ハイブリット開催)

- ・ESCO事業の可能性と今後の取組みの進め方の方向性について協議



25/6 ESCO事業等実現可能性について
具体的な検討開始

建築物(木造建築)

北九大 福田教授

24/12/11 講演会 @学研都市・北九大

『GXから見た近未来の木造建築を考える』

- ・講演 東京大学 腰原氏、近畿大学 藤田氏、大英産業 一ノ瀬氏、北九大 福田氏
- ・パネルディスカッション
- ・高機能木材研究所見学



25/8/1 第2回講演会 @学研都市

テーマ:木造建築の耐火性について

- ・講演 NPO法人teamTimberize安井氏、竹中工務店 花井氏、北九大 福田氏
- ・パネルディスカッション
- モデレータ FAIS/GX推進部 三戸



建築物(ZEB等)

北九大 白石教授、上野助教授

25/2/19 シンポジウム

@ホテルクラウンパレス小倉

- ・基調講演 早稲田大学 田辺氏
- ・講演 佐藤総合計画 田村氏、ミクニ竹内氏
北九大 上野氏、市都市戦略局 一瀬氏
- ・パネルディスカッション
モデレータ 北九大 白石氏
登壇者 講演者、市都市整備局 石原氏



カーボンクレジット

北九大 上江洲教授、 河野教授、牛房教授

『泥炭火災カーボンクレジット事業化研究会』

@学研都市

24/10/23 第1回研究会

25/3/13 第2回研究会

25/8/4 第3回研究会



北九州GXエグゼクティブ・ビジネススクール

経営層向けGXビジネススクールを開発

IGES
公益財団法人
地球環境戦略研究機関



- 経営層を対象にGXに向けたマインドセット講座を開催
- 講義形式とワークショップを毎回開催

第1期：令和6年 1月19日～ 3月 1日（全6回） 受講者 15社 27名
第2期：令和6年10月11日～11月15日（全6回） 受講者 10社 17名
第3期：令和7年 9月5日～11月14日（全6回） 現在参加者募集中！



➤ 第3期各回テーマ

第1回：GXに関連する国内外の動向
第2回：GXのエンゲージメント
第3回：事業活動の脱炭素化

第4回：脱炭素ソリューションの開発

第5回：GXを実現するための手段

第6回：GX実現のためのアクションプラン

➤ 協力企業・団体

脱炭素成長型経済構造移行推進機構(GX推進機構) | 九州経済産業局 | 九州地方環境事務所 |
一般社団法人日本気候リーダーズ・パートナーシップ | 一般社団法人エネルギーマネジメント協会 |
北九州市立大学 | 九州工業大学 | 第一交通産業(株) | (株)ドーガン | (株)ギラヴァンツ北九州 |
(株)山口フィナンシャルグループ | プレイスメント(株) | (株)タンソーマンGX | (株)Green AI | 九州電力(株) |
(株)デンソー九州 | (株)リョーワ | 日本IBM(株) | (株)メンバーズ | (株)スキルアップNeXt

各社がアクションプラン
を作成、脱炭素経営の
次のステージへ 17

北九州GXエグゼクティブ・ビジネススクール

開講日：隔週金曜日 全6回(9/5、9/19、10/3、10/17、10/31、11/14)

対象：企業の経営者・経営幹部層・次世代を担う若手社員(先着15社)

受講料：1社 99,000円(税込) 1社2名まで受講可能

会場：【初回(9/5)】ミクニワールドスタジアム 【2回目以降(9/19~)】コンパス小倉

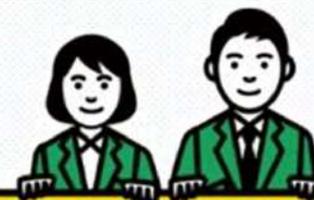
スケジュールとプログラム (簡易版)

受講生の目指す姿 ▶ 自社のGX経営を語るようになる！



月日	第1回：2025年9月5日(金)	第2回：2025年9月19日(金)	第3回：2025年10月3日(金)	第4回：2025年10月17日(金)	第5回：2025年10月31日(金)	第6回：2025年11月14日(金)
テーマ	GXに関連する国内外の動向	GXのエンゲージメント	事業活動の脱炭素化	脱炭素ソリューションの開発	GXを実現するための手段	GX実現のためのアクションプラン
場所	ミクニワールドスタジアム北九州	コンパス小倉	コンパス小倉	コンパス小倉	コンパス小倉	コンパス小倉
09:30	開会挨拶・概要説明 アイスブレイク 脱炭素経営入門 気候変動時代の競争力	自動車業界のGX関連動向 Coming soon! 金融業界のGX関連動向	温室効果ガス排出量の見える化 GXにも役立つAIの基本	低コストで進める脱炭素化と炭素削減のソリューション作りでGXを実現 GX分野における地元大学の企業支援	GX分野における地元大学の企業支援 GX分野の産学連携の推進	アクションプラン発表 スクールを通じて、バックキャストイング手法で検討いただいたGX経営のアクションプランを発表いただきます。
12:00	色んな「モリモリ」がある脱炭素。事業を伸ばし、経営の基盤強化の両立を目指す。色んな脱炭素の取り組みを紹介します。 【一社日本産科リサーチ・パートナーシップ】 松尾 雄介					
13:00	国内のGX・脱炭素関連政策の動向 GX推進機関 高林 祐也	GX経営で企業価値を向上 ワークショップ：シナリオ分析	脱炭素化を事業強化の機会に 省エネによるエネルギーコストの削減	デジタルツインでGXを実現 ワークショップ：GX時代の循環型ビジネスモデル構築の要点を理解する	行政による支援メニュー 北九州市の関連制度	アクションプラン発表 スクールの振り返り 開校式
17:00	国内のGX・脱炭素関連政策の動向 GX推進機関 高林 祐也	GX経営で企業価値を向上 ワークショップ：シナリオ分析	脱炭素化を事業強化の機会に 省エネによるエネルギーコストの削減	デジタルツインでGXを実現 ワークショップ：GX時代の循環型ビジネスモデル構築の要点を理解する	行政による支援メニュー 北九州市の関連制度	アクションプラン発表 スクールの振り返り 開校式

2025 9.5 開校



申込締切 2025 9.2

先着順

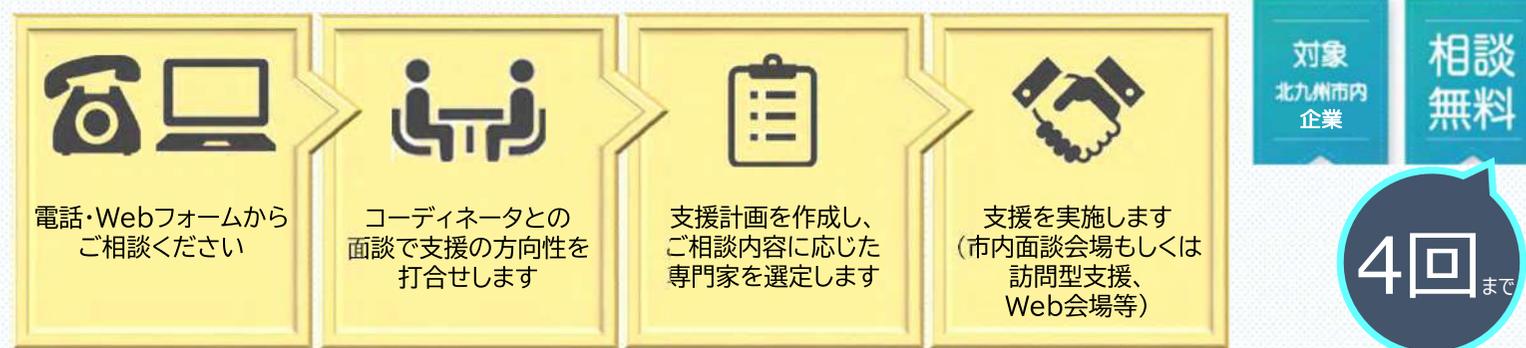
申し込みはこちらから→
※定員(15社)になり次第締め切ります。

<https://crm.iges.or.jp/public/application/add/6467>



ワンストップ相談窓口・専門家派遣

グリーン成長を目指す企業の相談窓口を設け、
GXの知識・技術を有する「専門家」による伴走支援を実施



- ・算定したCO2排出量の妥当性評価
- ・工場の生産ライン見直し
- ・省エネ、補助金活用支援
- ・協業支援企業発掘 など

専門家による課題解決に向けた伴走支援

ワンストップ相談窓口・専門家派遣

登録専門家（R7.8月末現在）：**16社** ※随時追加中

金融

東京海上日動火災保険会社
【GX推進に伴うリスクマネジメント】

三菱UFJ銀行

タンソーマンGX
プレイスメント

【国内外の最新動向、ロードマップ策定】

IGES

国際環境エネルギー研究機関

省エネ・再エネ

九州電力、西部ガス、
エネルギーマネジメント協会
【省エネ補助金】

カーボンニュートラルに
向けた改善支援

生産ライン

デンソー九州、ドーワテクノス【IT導入】

事業変革・新分野参入
計画策定支援

IT導入
など

アップルツリー 【国内外の最新動向】

アルファコミュニケーションズ

フォーバル 【中小企業の循環経済型ビジネス支援】

メンバーズ

【企業・商品単位のCO2排出量データの算定・可視化】
【循環経済モデルによるサービス開発運用】
【社員・取引先に向けたGX意識改革】
【GX関連取組みの企業情報発信・CSVマーケティング】

日本電通

環境技術など

環境テクノス 【LCA,Jクレジット】

その他

スタートアップ、中小企業支援、企業立地補助・・・

すべてワンストップ
相談窓口で受け付け²⁰

地域企業のCO₂把握支援

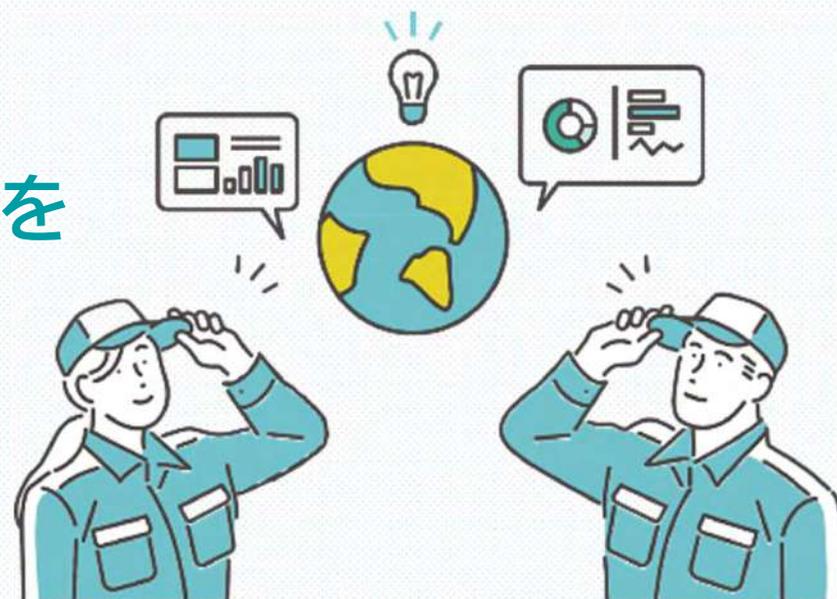
企業のGXに向けた取り組みの第一歩は、CO₂を把握するところから・・・

北九州GX推進コンソーシアムでは
CO₂ 排出量可視化ツールを
無償提供

※ 希望する市内企業

現在のCO₂見える化ツール
利用企業数
(令和7年7月現在)

32
社



コンソーシアムがアカウントを付与
無償・無期限で使用できます

自社のCO₂を把握して、次のアクションへ

G X 推進補助金

地域企業のGXビジネスモデル変革・新ビジネス創出を推進

R7事業費 1,000万円

交付上限 500万円
補助率 1/2
補助対象者 市内事業者

これらに関する取組みを支援

- 自社製品・サービスのカーボンニュートラル化
- 新商品・新サービス開発
- 政府が掲げるGX重点分野への進出

市場調査、事業計画策定、市場開拓、試作品製作 等

申請提出期間 令和7年5月1日(木)～令和7年6月6日(金)



KTO-GX 2025
GXで企業価値を高める取組みを支援します

令和7年度 GX推進補助金公募 5/1 START

北九州市の地域企業のGXの取組みの推進と企業価値の向上を図り、北九州市におけるGXに資する新ビジネスの創出及び官民GX投資を促進することを目的として、北九州産業学術推進機構GX推進補助金事業を実施します。

以下のような取組みを支援します

- ☑ 自社製品・サービスのカーボンニュートラル化
- ☑ 新商品・新サービス開発
- ☑ 政府が掲げるGX重点分野への進出

補助率 1/2
交付上限 500万円
申請期間 不問

補助対象者：北九州市内に事業所（本社、支店、営業所、工場等）を有する者であること、北九州GX推進コンソーシアムに入会していること、自社の温室効果ガスの排出量算定に着手していること、等

補助対象経費	経費項目
I 物品費	土木・建築工事費、機械装置等製作・購入費、消耗品費、保守・改造修理費
II 労務費	従業員費、補助員費
III その他の経費	旅費、外注費、知的財産権関連経費、保証料 ※経費は1～11月計額の20%以内

補助対象経費 公募開始日(5月1日)～令和8年1月30日

申請書提出期間：令和7年5月1日(木)～令和7年6月6日(金)

本補助金の詳細や申請書様式は、4月1日より下記ホームページで、ダウンロードできます。
北九州学術研究都市ホームページ <https://www.kirp.or.jp/collaboration/gx/gx-grant.html>

問い合わせ先：本補助金推進先・問い合わせ先 事務局 093-695-3006 北九州市若菜区石原2-1-1
公益財団法人北九州産業学術推進機構 FAIS TEL:093-695-3006 FAX:093-695-3018
総合連絡センターGX推進部 担当：三好 陽子 E-mail: tai-gx@shad.kirp.or.jp

GXで企業価値を高める企業の取組みを支援

GXの種類と課題

脱炭素化の推進（守り+攻め）

守りのGX（基礎編）

（エアコンの省エネ改善など）

守りのGX（応用編）

（電気自動車（EV）による充放電、水素の活用など）

攻めのGX（全て応用編）

（GXに資する新素材開発など）

応用編

地域企業の取組事例



ものづくり現場の脱炭素に挑戦する



溶接レスの新工法

松本工業株式会社



地産地消の推進

大英産業株式会社



デジタル化と再エネ

株式会社西原商事

bee-net system



DX Selection 2024



健康な体ときれいな水を守る。

シャボン玉石けん

環境保全と経営の両立

シャボン玉石けん株式会社



これからの主な動き

地域企業のGXへの取り組みを促進

GXへの取り組みをアピールする仕組みを検討

(例: ギラヴァンツ北九州・Jリーグとの連携)

会員企業同士のオープンイノベーションを推進

(例: ネットワーキングイベント、パネルセッション)



投資促進に向けた金融機関等との連携

金融分野の第一線の方々をはじめとした連携を強化

独自のサステナブルファイナンスの検討



Future
Design Initiative by
Science and
Finance



北九州市の持つ多様なポテンシャルを活用し、
世界を先導する「グリーン×テック シティ Kitakyushu」を目指す

GXを推進し、北九州市を「稼げるまち」へ

参加者
募集中

オンラインセミナー

主催：北九州GX推進コンソーシアム
(事務局：北九州市、(公財)北九州産業学術推進機構)

そもそもGXって？

～気候変動の時代を生き抜くために～

科学の最新知見とアメリカの動向

今年の夏、日本列島は記録的な暑さに見舞われ日本の歴代最高気温が更新される日々。もはや気候変動は、遠い未来の話でも、特定地域の出来事でもありません。いま求められているGXは一体なぜ必要なのか。「そもそもGX（グリーン・トランスフォーメーション）とは？」という問いを出発点に、北九州GX推進コンソーシアム顧問である、東京大学ビジョン研究センターの江守正多先生をはじめ、日本気象協会気象予報士の松井渉氏、ShibuLA Ventures Co-Founder and CEOの二宮ケビン氏に、最新の科学的知見やアメリカの動向について講演いただき、改めてGXの本質と展望を考えます。

2025

9/9 [火]
14:00-16:00

開催方法

CiscoWebex オンライン開催

定員/費用

定員 200名/参加無料

お申込み

下記のQRコードより必要事項を入力
いただき、お申込みください。



URL <https://ktq-gx.com/news/4148/>
※セミナー参加URLは申し込み完了後
即時発行されます。

申し込み締切り 9/8 (月)



14:05～14:45

我が国の異常気象と
気候変動影響

日本気象協会
気象予報士 松井 渉 氏



14:45～15:25

そもそもGXとは？
気候変動を巡る
世界の最新科学的知見

東京大学ビジョン
研究センター教授 江守 正多 氏

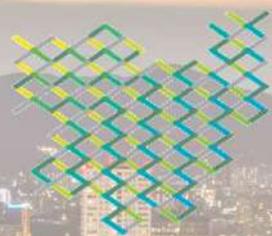


15:25～16:00

アメリカのGX関連の
最新動向

ShibuLA Ventures
Co-Founder and CEO 二宮 ケビン 氏

ご清聴ありがとうございました。



KTQ-GX
Challenge 2050

北九州GX推進コンソーシアム
<https://ktq-gx.com/>

